シーニックバイウェイ「秀逸な道」選定区間

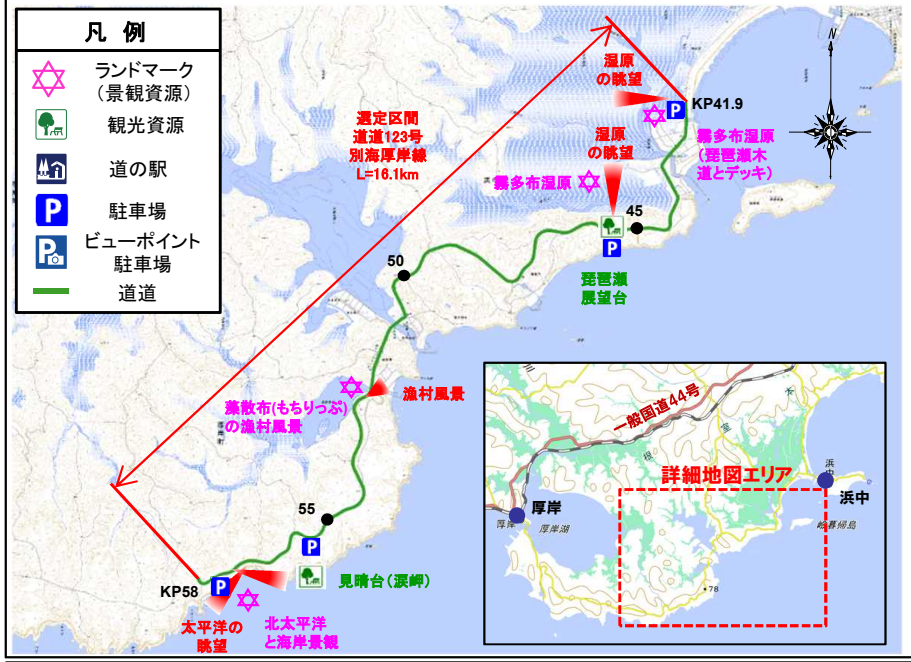
【ルート名】 知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

【コンセプト：北太平洋と湿地の風土に息づく自然と漁業の道】

道道123号の浜中町から厚岸町の区間は、丘陵性台地から北太平洋や海岸地形、湿原を望むことができる絶景ルートです。地域住民の保全活動により守られてきた霧多布湿原、漁村景観、豊かな動植物や断崖絶壁の涙岬などの北太平洋シーサイドラインの風景を車・自転車・歩くそれぞれの速度で体感できます。

【区間概要】 ●道路種別：北海道道123号別海厚岸線　●位置：厚岸町末広～浜中町琵琶瀬　●延長：16.1km

●取組方針：厚岸霧多布昆布森国定公園内にある琵琶瀬展望台からの眺望は、霧多布湿原と北太平洋を望む圧倒的なパノラマを誇ります。ルートでは、当該区間の景観を守るため、厚岸町、浜中町などと連携して、清掃活動を継続的に実施し、主体的に景観保全を行っています。「秀逸な道」については、周辺観光資源だけでなく、シーニックデッキ・カフェ（予定）などのルート活動も活用し、PR・情報発信を展開します。



●景観資源
北太平洋と海岸絶壁の景観（厚岸町）

●景観資源
太平洋の反対側に広がる広大な霧多布湿原（浜中町）

●景観資源
ドライブだけでなく、自転車、歩行など、それぞれの目線で楽しめる景観（厚岸町）

●景観資源
藻散布の漁業風景～昆布干し～（浜中町）

●景観資源
霧多布湿原～琵琶瀬展望台からの眺望～（浜中町）

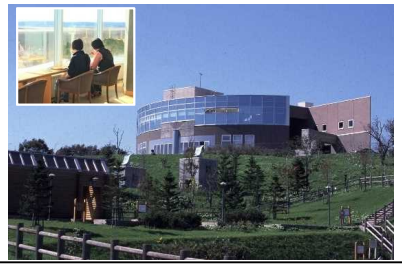
●観光資源
琵琶瀬木道・デッキ（浜中町）

【周辺観光資源とのパッケージ化】

●観光資源
涙岬（浜中町）：断崖の海岸景観（水平線の眺望）への散策路や展望台が整備されています。

●観光資源
厚岸霧多布昆布森国定公園（釧路町・厚岸町、浜中町、標茶町）：季節により移り変わる湿原一面に咲く花やタンチョウ、ラッコなどの自然観察をすることができます。

●観光資源
霧多布湿原センター（浜中町）：ラムサール条約湿地の霧多布湿原を学べます。館内のシーニックカフェ（きりたっぷカフェ）では秀逸な道のPR活動も予定しています。



●景観資源 ●観光資源
火散布の漁業風景～ウニの養殖～（浜中町）：申請区間沿いには漁村が点在します。漁船、漁港、昆布干しのほか、ウニの養殖など地域ならではの景観資源があります。

●観光資源
北太平洋シーサイドライン（釧路町・厚岸町、浜中町、根室市）：申請区間以外にも続く絶景海道。森林、酪農景観など変化に富んだ景観資源があります。